

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域密着型サービスや意義、理念は概ね理解できている。新入社員の理念共有については4月以降の職員に関してはオリエンテーション行えた。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、研修会を行っており、外部の方や地域の方、家族様も参加して頂くよう声を掛けている。また、法人の行事を行う際に地域を巻き込んで行えた。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に開催できており、意見を取り入れる機会を作ることができている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議では市の担当者に会えておらず、報告のみとなっている。必要時には連絡を取るが密な連携とは言えない。	管理者やケアマネは必要時には報告を行っているため、連携は取れている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の「身体拘束」における研修を職員全員で受けており理解している。身体拘束のないケアを実践できている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「身体拘束」に関する研修をしっかりと設けており、職員全員が受けていることから、充分にできていると判断。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「虐待」についても年に2回の法人内で研修を行っており、職員も理解できている。また、見過ごさず、注意し合える環境作りに努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同上
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者やケアマネが中心となり制度周知は部内会議等で行っている。現在制度活用事例はまだ無い。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約に関する説明には利用者や家族等に直接お伝えして、理解・納得をしている。			
	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	来訪時などにも、利用者や家族等の意見、要望はないか必ず聞くようにしている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の意見や提案があれば、職員会議等で話し合いの場を設けて反映している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入社時だけでなく、定期的に面談を行うことにより希望を把握し、出来る限り全従業員が希望の働き方を実現できるよう努めている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「定期的な面談」に関する具体的な数字 DATA の記載が望ましい。
	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の力量把握は適宜行っている。法人内研修は外部の講師を招き、毎月実施できた。各職員にあった個別の研修に力を入れたい。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者やケアマネジャーは外部訪問や交流の機会を持つことができている。毎月の研修では講師を外部から招き交流の機会を持っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いを考えながら、生活を共にする一員として一緒に過ごしている。			
	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	交流に関しては、家族の来訪が中心となっている。外出に関しては、全く出ていない。	家族にも協力を仰ぎ、馴染みの場所や故郷への外出支援を計画する。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の情報収集やアセスメントで意向の把握に努めている。			
	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者や家族等の要望や意見も取り入れ、職員会議でケアのあり方を話し合い、反映している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子や気づきは個別記録や連絡ノート等に記入し、都度、職員間で共有し、会議の議題に挙げている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時の状況やニーズに合わせて、可能な限り対応するよう努めている。			
	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	数年間外部との関係が薄くなっていた影響で、地域資源の把握、活用が十分でないと感じる。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族等の希望を優先し、納得して受診できるよう支援している。かかりつけ医とも関係を築いている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時情報シートの提出、退院時もカンファレンスに参加し関係づくりに努めている。また、適宜、病院に現在の状態を確認したり、可能な場合は面会を行っている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「関係づくり」の具体的な文言の提示が望ましい。
	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状態を見つつ、主治医と連携を取りながら、適宜、家族と話し合いを行っている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	話し合いを行ってからの方針及び共有内容が提示できた方が望ましい。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時対応を周知している。応急対応については医療職と連携することを第一としているため、応急手当の訓練は十分ではない。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方との協力体制が十分とは言えないが、全職員が避難方法等は避難訓練等によって身につけている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「地域の方との協力体制が十分とは言えないが、」から判断。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ともの家の理念にも「尊厳のある生活を支援する」とあり、言葉かけや対応はできている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向が言えない方に関しては、職員で考えながら対応している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の好みを理解し力を活かしている。食事の準備や後片付けの食器拭き等も役割を分けて一緒に行っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの食事量、水分量の把握。利用者の状態に応じた食事の形状を考え、既存の力を活かした提供を行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアを行い。希望や状態に合わせて訪問歯科を利用している。口腔ケア用品も利用者に合わせて選択している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の状態や体調に合わせて取り組んでいる。特変があった場合には、その都度、情報を共有し改善や自立の支援に努めている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴の時間はある程度決まっているが、できる限り意向には添えるようにしている。			
	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日の体調や状況に応じて、日中も休息したり、夜間は安心して眠れるように支援できている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の変更があれば、その都度、情報を共有し理解に努めている。また、職員会議にて経過や変化の確認を行っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共同生活の中でも、一人ひとり役割を持って、楽しく充実した生活を過ごせられるよう支援している。			
	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ☒ D. ほとんどできていない	法人の全体行事等には参加できているが、外出はほとんど行えていない。	気候のいい日は一人でも、短時間でもいいので外気浴を行うことから始める。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	金銭管理は家族が行っているが、希望を聞き、お金を使うことができるようにしている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族から電話があった時には本人と代わり、やり取りをしている。希望者は手紙のやり取りも行っている。			
	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リビングなど共同の場合は、必要な物以外は置かないようにし、季節ごとに飾りを替えている。席も仲の良い方同士で過ごせるよう配慮し、自立した生活が送れるような工夫を心がけている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

		れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている					
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分の思いを伝えることが困難な方は、家族の方の情報などを元に、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしを考えています。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントを元に、生活歴や趣味を活かした暮らしができるように配慮しています。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェックに、更衣や入浴時には観察をしています。特変時には家族や主治医との連絡がすぐにとれるようになっています。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できるだけ本人の意向に沿って自分のペースで生活ができるように支援しています。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が大切にしている物を自室に飾らせていただき、自分の馴染みの物は、なるべく身に付けて過ごしてもらっています。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ☒ D. ほとんどできていない	法人の全体行事には参加できているが、事業所独自での外出は行っていない。	催事への参加も、出来るだけ多くの方に参加して頂くよう考える。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの利用者が、役割や楽しみを持つことができるように意向や状態の確認を適宜行い、実践しています。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事手伝いや、食事の際の楽しい会話など、それぞれの方がご自分の得意な部分で、他の方との関わりを持ち過ごされている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「自己評価」に合わせて判断。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との交流の機会が法人の行事のため、ほとんど行えていない。	全く外へ出れていない現状、まずは外気浴することから始める。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の人々との交流は少ないが、職員との信頼関係は築けており、安心した生活が送れるよう支援している。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「自己評価」に合わせて判断。

(参考様式4)

事業所名 溝辺ともの家

目標達成計画

作成日: 令和 7 年 3 月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	36	法人の全体行事等には参加できているが、外出はほとんど行えていない。	戸外へ出かける大切さを学び、実践する。	気候のいい日は一人でも、短時間でもいいので外気浴を行うことから始める。	12ヶ月
2	15	交流に関しては、家族の来訪が中心となっている。外出に関しては、全く出来ていない。	その方の、故郷や馴染みの場所を感じられる支援を行う。	馴染みの場所や故郷への外出が難しい場合は、故郷の写真を飾ったり、特産品を購入するなど、その方が故郷を感じれる環境を作る。 可能なら家族にも協力を仰ぎ、馴染みの場所や故郷への外出支援を計画する。	12ヶ月
3	1	2024年4月以降に就職した職員に関してはオリエンテーションを行えているが、以前の職員にともの家の理念等を理解しているとは言い難い。	職員、全員が理念を理解し、実践に繋げる。	職員会等でともの家についての研修を行い、理解を深める。	12ヶ月
4	25	新しい職員が多く、避難訓練に全ての職員が参加できておらず、不安に感じている職員も少なくない。	緊急時にも落ち着いて対応できる。	避難訓練には全職員が参加し、実際に対応することで、非常時にも落ち着いて、正しく判断できる力を付ける。	12ヶ月
5	45	法人の全体行事には一部の入居者が、時折参加しているのみになっている。 事業所独自での外出は行えていない。	法人の行事にはなるべく多くの方に参加して頂き、交流を図る。	行事の日はシフトを調整し、人数を増やしたり、難しい場合は他事業所の手助けを借り、なるべく多くの方に参加して頂くよう努める。	12ヶ月